



Iris

発行日  
令和5年4月28日

新潟市立鳥屋野小学校

あいらす



文責 校長 佐藤貴子

## 自分の良さを伸ばす学校目指して

子どもには一人一人の良さがあります。これは私の好きな詩で、子どもと長い時間接する教職員が心する大切な基本方針であると考えています。もともとは、家庭教育のために書かれたのですが、私たち教職員を主語として置き替えても、実に真実を言い得ていると思います。子どもたちが「自分の学校がいいところだ」と思えるように、愛情を込めて一年間努めていきます。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる

広い心で接すれば、よく考える子どもになる

誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ

認めてあげれば、子どもは自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ

正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る

子どもに公平にあれば、子どもは正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもはやさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは強い子どもに育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、

子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

ドロシー・ロー・ノルトの「子どもが育つ魔法の言葉」より一部抜粋

先日、授業を見て回っていてある子に「自分なりに工夫して図と式で考えているんだね。」と声を掛けると、「絵で書くと目の前に（様子が）浮かぶっていうか。」とにこっとして答えてくれました。認めてあげれば、自分のやり方に自信をもって自分が好きになることを実感した一コマでした。鳥屋野小学校では、週に一回全職員で子どもの様子について共有する時間があります。いじめなどの心配なことだけでなく、子どもの良さや素晴らしさ、子どもってすごいな、と感動したことを共有する場にしていきたいと思っています。